

01

July 2013

学芸員課程 Newsletter

Newsletter from Course
for Prospective Museum
Workers, Faculty of Letters,
Okayama University

編集：光本 順
発行：岡山大学文学部学芸員課程
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
発行日：2013年7月19日

contents

新学芸員課程の開始にあたって……………	1
久野 修義	
特集 ココが変わるッ！ 新学芸員課程…	2・3
光本 順	
コラム 博物館探訪……………	3
アイルランドの博物館を訪ねて	
新納 泉	
先輩学芸員にきこう！……………	4
宮崎県立西都原考古博物館学芸員	
甲斐 貴亮	
お知らせ……………	4

新学芸員課程の開始にあたって

久野 修義 文学部長
大学院社会文化科学研究科教授

「博物館法施行規則」が改正され、新課程による授業科目が今春から開講される運びとなりました。ご承知の通り、「大学改革」のうねりはとどまる所を知らず、ますます大きく、今では、そのスピード感までもが求められています。新学芸員課程の開始もそんな改革の一環であり、現代社会のニーズに対応できるようにと修得単位数の増加や、実習授業の充実化などがはかられたわけです。従来に比べて学芸員資格取得のためのハードルは上がり、学芸員をめざす諸君にとっては「まことにご愁傷様」なことでもあります。しかしながら、それというのも学芸員に対する社会の期待がそれだけ高まっているからで、ここはひとつ前向きに受け止めるべきなのでしょう。

文科省の省令によれば、学芸員に求められているのは「人々の知的関心に応える「地域文化の中核的拠点」とし

ての博物館」を支える力能であり、国際的にも遜色ない高い専門性と実践力です。とはいえ、こんな能力はいくら新課程の単位をそろえたところで簡単に身につくものではありません。私としては、学芸員資格取得をめざす皆さんには、単に資格単位を揃えることに汲々とするのではなく、この課程における学びを通して学芸員にふさわしい資質、すなわち学芸員として自らを成長させていく自己教育力、これを是非とも育てていただきたいと願っています。それは学芸員になるかどうかに関わらぬ汎用的能力であり、人生のすばらしい財産になるはずだからです。

このニュースレターもその一助になれば、と切に願うものであります。



学芸員課程ミュージアム
教育実習室

【特集】 ココが変わるッ！ 新学芸員課程

新学芸員課程の特色は、カリキュラムの拡充および主体的学びの発展、そして地域連携の深化という3本柱です。2013年度より新装なった「学芸員課程ミュージアム教育実習室」は、学芸員課程学生のホームであり、かつこれらの柱をつなぎます。

新学芸員課程は、学部・組織の垣根を越えたスタッフの連携のもと、文学部だけでなく、理学部（博物館実習除く）および教育学部の学生も学んでいます。こうした全学的な教員・学生のつながりもまた、この課程の魅力です。

新学芸員課程

カリキュラム

ミュージアム
教育実習室

主体的学び

地域連携

カリキュラム

新課程の必修科目（19単位）

- ・生涯学習社会論
- ・博物館概論
- ・博物館経営論
- ・博物館資料論
- ・博物館資料保存論
- ・博物館展示論
- ・博物館による学習支援
- ・博物館情報・メディア論
- ・人文系博物館実習

これまで岡山大学では、学芸員課程の必修科目数を15単位としてきました。新課程カリキュラムでは、それが19単位に拡充しました。同時に、全体として内容の大幅なりニューアルがなされました。「博物館資料保存論」「博物館展示論」は新規科目です。また、「博物館情報・メディア論」「博物館による学習支援」などでは内容を新たに、現代の多様な博物館活動へのいっそうの焦点化が図られたことも特色といえます。2014年度から開講の「人文系博物館実習」では、学生展示企画や地域の博物館との連携のもと、実践的学びを強化します。

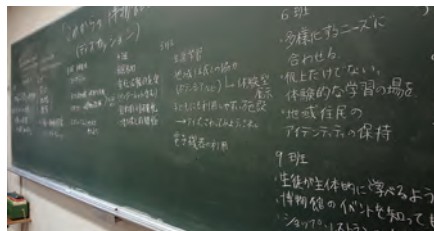
授業風景から（2013年度前期）

◎博物館概論



ディスカッション「これからの博物館像について」の一コマ

カリキュラムの拡充により、これまで博物館概論の中で手短かに扱わざるを得なかった展示や資料保存にかかわる内容を、新たな該当科目に移動。新課程の博物館概論は博物館の歴史や現状と課題に関する内容等、よりきめ細やかな構成となりました。



◎博物館資料保存論

授業テーマは、資料をまもるための技術的方法の基礎を学ぶこと、そしてそのために必要な考え方（なぜまもるのか）について議論すること。

具体的には次のような項目について主に学びます。

- ・博物館資料の劣化要因と対策
- ・大規模自然災害への対応と備え
- ・歴史的景観・自然環境の保全

今津勝紀先生（大学院社会文化科学研究科教授）による特別授業「文化財の緊急レスキュー」。資料保存に関する基本的姿勢について学ぶ。



主体的学び

学芸員課程における学びは、ただ資格のための単位を取得するだけではありません。カリキュラムの充実とともに、学生による主体的学びを発展させることも、新課程の大きな特色です。

主体的学びをサポートするのが、学芸員課程ミュージアム教育実習室です。授業の予習・復習、レポート作成、情報検索、独自イベントの企画・実践、そして学部や専門領域を超えたコミュニケーション——実習室をホームとした新たな活動がはじまります。



「ランチタイム企画チラシ選挙」を実施。実習室での投票風景。チラシ案は学生が作成。

**ランチタイム企画
「トーク・ミュージアム」の実施**

トーク・ミュージアムとは
博物館にかかわる最新の話題について、気軽に語り合う場です。

**展示の企画・製作
講演会の企画・立案**

**学芸員課程
ミュージアム教育実習室**

**学部・専門領域を超えた
コミュニケーション**

**授業の予習・復習
レポート作成
情報検索**

地域連携

新学芸員課程では、地域の博物館とのいっそうの連携のもと、実践的学び、ならびに地域貢献の可能性を探求します。これは、新カリキュラムと、授業以外の学びの双方から地域へアプローチするものです。2013年度は、岡山大学「大学機能強化戦略経費」事業「**地域密着型による実践的学芸員養成教育プログラムの構築**」をスタートしました。

コラム 博物館探訪

アイルランドの博物館を訪ねて

アイルランドといえば「ケルト文様」で飾られた黄金製品で知られる。しかし、この「ケルト」という言葉が曲者だ。博物館の説明に「ケルト民族」という用語が使われていたら、その博物館は〈古い!〉と考えてよい。2012年から13年にかけて訪れた博物館のなかから、〈古くない〉3館を紹介したい。

第1は、アイルランド国立博物館。ダブリンの街中であり、さすがに正面の展示室には黄金の首飾りなどが所狭しと並ぶ。さらに、展示が新しくなった隣接の部屋では、湿地の泥炭層から発見された、腐敗を免れた2000年以上前の遺体が目を引く。最新の技術を用いて解析され、地中海産のヘアリキッドをつけたり、マニキュアまでしていたおしゃれ?な男性の姿がよみがえった。だが、解析でわかったあまりにむごたらしい殺され方に、私は言葉を失った。

第2は、北アイルランドのベルファストにあるアルスター博物館。爆破闘争は終わったが市庁舎での英国国旗掲揚をめぐっていざこざが続くなかで、立ち寄った。2009年に26億円をかけて改修されただけあって、展示は新し

大学院社会文化科学研究科教授
文学部学芸員課程専門委員会委員長 **新納 泉**



国立文化遺産公園の解説板

くわかりやすい。ただ、私はミュージアムショップに超一般向けの本しかなかったのが悲しかった。

第3は、南東部のウェックスフォードにある国立文化遺産公園で、復元住居などが並ぶ野外博物館。あまり期待せずに入ったのだが、説明パネルが絶品!! 明快な英語で最新の学術成果がわかりやすく解説されている。あまりにすばらしく、すべてのパネルを隅から隅まで読んで写真に収めた。もちろん、「ケルト民族」が鉄器時代に渡来した証拠はまったくないと、ていねいに説明されていた。

先輩学芸員にきこう！

宮崎県立西都原考古博物館 学芸員 甲斐 貴充 さん



展示解説風景

これまで岡山大学で学芸員資格を取得した卒業生は、実際に全国各地で学芸員として活躍しています。「先輩学芸員にきこう！」は、そうした心強い先輩に、学生が考える学芸員についての疑問を解決していただくコーナーです。

第1回目は、宮崎県立西都原考古博物館学芸員の甲斐貴充さんに、博物館概論受講生が考えた質問にこたえていただきました。

甲斐 貴充(かい たかみつ)さんのプロフィール

宮崎県立西都原考古博物館 学芸普及担当

1972年宮崎県生まれ

1996年文学部史学科考古学専攻卒業。同年、宮崎県教育委員会採用。

宮崎県埋蔵文化財センターを経て、2008年から現職。

専攻は日本考古学

担当した主な展示会「日韓の武具」(2008)、「何の意ぞ碧山に栖む」(2009)、「東アジアの石器」(2010)、「覇者の愛した煌めき」(2011)、「蒼き海路を統べるもの」(2012)

1. 学芸員になるには

なぜ学芸員になろうと思ったのですか。

最初から学芸員になろうと思ったわけではなく、出身地である宮崎県で埋蔵文化財・考古学に関わる仕事をしようと思い、卒業後は宮崎県教育委員会に就職しました。

どのようなプロセスで学芸員になりましたか。

県立高等学校で教諭を1年した後、県埋蔵文化財センターで遺跡発掘調査などの埋蔵文化財行政を12年行い、5年前から今の博物館に勤務しています。

学芸員になるためには大学で何を学んでおくべきでしょうか。

学芸員は専門的知識を有していることが絶対条件ですので、それを深めることが必要だと思います。

学芸員になるためには大学院に行くべきですか。

学芸員に関しては特に必要はないと思いますが、専門的な知識を深めるためには行っても差し支えないと思います。

どのような人に学芸員になってほしいと思いますか。

地域にとって、何が重要かを優先して考えることができる人に学芸員になってほしいと思います。

2. 学芸員の仕事の実際

大学で学んだ学芸員のイメージは、実際と合っていましたか。

学芸員は雑芸員とよく言われますが、まさにその通りでした。専門的な研究だけでなく、大工仕事からデザインまで、幅広い仕事をこなさなければいけません。話には聞いていましたが、まさかこれほど仕事の幅が広いとは思いませんでした。

学芸員をしていて、やりがいを感じるのはどのような時ですか。学芸員として一番ヒヤリとした経験は何ですか。

博物館を楽しんでいる人を見た時、自分の仕事が学芸員で良かったと思います。ヒヤリとするのは展示資料が壊れていた時です(幸い、あまり経験ありませんが…)。

日本と世界で学芸員の待遇に違いを感じますか。

私が一緒に仕事をする機会の多い韓国や台湾の博物館の学芸員とは、あまり大差を感じません。

一日の仕事の流れについて教えてください。またどのような仕事から一日が始まりますか。

私たちの博物館では、学芸員や専門員全員で、必ず毎朝、開館前の30分間、展示室の点検(露出展示が多いので)と清掃を行います。

今までで一番思い入れのある展示はどのようなものですか。

初めて担当した展示会です。いきなり韓国の甲冑資料の展示会で、国内とは大きく事情の異なる海外との資料借用は、困難なことが多く、無事に開催した時には達成感がありました。

展示に関する研究にはどのくらいの時間をかけていますか。

勤務時間内には、なかなか研究を行う時間が確保できません。時間外で行うことが多いです。

特別展・企画展のテーマやアイディアは、どのように生み出すのですか。

特別展・企画展は何ヶ月前から準備しますか。

展示のテーマは、博物館が伝えたいことを中心と考えていくと、自ずと決まってきます。私は、だいたい年間2本の展示会(大1・小1)を担当します。ほとんどの展示会は、準備から開催まで1年程度のものが多いです。

展示や研究などは、役割分担をして行いますか。それともすべてひとりでこなしていますか。

展示も研究も基本的に個が中心とは思いますが、全て一人でできるわけではありませぬので、チームワークも大切だと思います。

資料を借用する際に、どのような苦労がありましたか。

貴重な資料を借りるということは、とても神経を使う仕事ですので、苦労だらけです。特に借用先が海外の場合は、貴重な文化財を国外に持ち出すので、交渉がとても難航します。

博物館による教育と学校教育とはどのような点が異なると感じますか。

学校教育との大きな違いは、対象年齢の幅が広いということ、相手が求める知識に幅があるということです。

学芸員としてどのような資料の修復・保存の仕事に携わりましたか。

考古資料全般ですが、特に古墳時代の鉄製品の保存に関わっています。同時に、国特別史跡の西都原古墳群の古墳整備にも関わっています。

資料の取り扱いで最も注意をはらった貴重な展示品は何になりますか。

今まで、国宝や重要文化財をはじめ、評価額が高額な資料も何度も扱ったこともありますが、価値に関係なく、脆弱な材質(考古資料では金銅製品・鉄製品・貝製品など)には特に注意をはらいます。

3. メッセージ ～学生のみなさんへ～

実際学芸員として働いてみると、学生時代に学んだ博物館概論こそが、博物館で仕事をするうえで基本中の基本だと改めて痛感しています。基礎的知識がなければ、新しい発想は生まれて来ないと思います。近年、さらに多様化しつつある学芸員の仕事に対応するために、しっかりと学んでください！

お知らせ

第1回学芸員課程ランチタイム企画 「トーク・ミュージアム」開催

※参加申し込み不要、参加費無料、出入り自由。
昼食はご持参ください。

日時 2013年7月31日(水) 12~13時

場所 岡山大学文学部学芸員課程ミュージアム教育実習室
(文・法・経済学部1号館3階301号室)

話題 「ワシントンD.C.とニューヨークのミュージアム」
～アメリカ合衆国の博物館展示に関するトピックを紹介～
光本 順 (大学院社会文化科学研究科准教授・文学部学芸員課程)